

第4回「大人のためのブックトーク」開催しました！

9月10日 I AMAS 小林図書館長と当館司書による本年度4回目のブックトークが開催されました。軽快なトークで、今回も多様な分野から本が紹介されました。

『変えられた性』ニールス・ホイエル編（舘沢紀志夫訳）
磯部書房 1953年発行

世界で最初に男性から女性への性転換手術（性適合手術）を受けたデンマークのイラストレーターであるリリー・エルベ（本名：アイナー・ヴェゲネル）の日記や手記をまとめたもの。彼女（？）の数奇な生涯は、原作は異なるが、トム・フーパー監督によって2015年に『リリーのすべて』という邦題で上映もされている。当時の性適合手術では、子宮や卵巣まで移植して、完全な「女」になることが目指されていた。1920年代のアー・デコの自由な雰囲気における性のありさまがときとして科学的にとときとしてロマンチックに描かれた一冊。

『「いき」の構造』九鬼周造
岩波書店 1991年発行

多くの大学の哲学や美学関連の授業で紹介され、必読本とされ、しかし、多くの学生にとっては「超難解」とされる本書だが、少々の「予習」によって読み進めることが可能であり、またここに係れていることを「実践」することすら可能な稀有な一冊である。九鬼周造という稀代の哲学者が欧州において自国である日本について語る時に鍵語としたのが「いき」であった。九鬼自身のきわめて叙情的な感覚が、鋭利な哲学的分析によって料理されているのが本書であり、純邦楽や落語、それに浮世絵などに不案内な研究者によって書かれた解説書を読むよりも、ダイレクトに本書にあたり、生涯をかけて、1頁ずつ堪能すべき一冊。

『井村雅代 不屈の魂』川名紀美
河出書房新社 2016年発行

シンクロナイズドスイミングの世界で、9度もオリンピックにコーチとして参加して、つねにメダルを獲得していた井村雅代のドキュメンタリー。あまりにも「日本的」なものにこだわりすぎて、海外の人ですらアナクロと認識されそうなテーマ設定や音楽も、審査員に対する「戦略」であることは、本書を読んで一目瞭然である。また、彼女のスパルタ教育が、選手のメンタル面を考慮したうえでの、思いつきと科学的実証性との両方に裏付けられた指導であることもよくわかる。スポーツ界のみならず、教育関連ワークショップや企業セミナーなど引っ張りだこなもの、井村の独特な教育観や身体観に関心が寄せられているからだろう、と思わせる一冊。

【岐阜県図書館：稲垣司書によるおすすめ本の紹介】

『F1 地上の夢』海老沢泰久
朝日新聞社 1993年発行
『マン島物語』森雅裕
中央公論社 1988年発行
『サクリファイブ』近藤史恵
新潮社 2007年



○感想等

- ・ 1回目に参加しておもしろかったので、今回また参加しました。前回も思いましたが、本の書かれた背景が中心なので、かえって本自体の内容が気になるところが素晴らしいと思います。医学部出身なだけあって、化学的な分析が入るのも興味深いです。
- ・ 小林さんのお話が大変面白く興味深かった。性同一性障害の倫理的な視点だけでなく、医学、歴史背景、芸術など様々な角度による紹介、やあ面白かった。
- ・ 4回すべて拝聴いたしました。自分が知らない分野の本に巡り合えてよかったです。小林先生のマシンガントーク（笑）をもっとお聴きしたいです。毎回違うTシャツも素敵でした。
- ・ 大人のためのブックトークは、配布されたチラシにも書いてありましたが、「1人ビブリオバトル」といった進め方で、小学生向けのブックトークに慣れているため、新鮮で面白いですし、勉強になります。今回の県図書館の方の紹介された本は、女性がとっつきにくい本を紹介され、読んでみたい本も見つけました。
- ・ 本への興味もわきましたが。大学での授業の様々な知識も得られました。
- ・ ただ本を紹介するだけでなく、その魅力を伝えるために、いろいろ調査されていたことが面白いと感じました。とてもよい本との出会いになりました。
- ・ とても楽しい時間でした。マン島のレース見てみようと思いました。本も読んでみます。『「いき」の構造』難しそうだと敬遠していましたが、読めそうな気がしたので、これも読んでみます。他のも全部面白そうで、自分では手に取らなさそうな本だったので、読書したい!!という気持ちが大きくなりました。
- ・ 初めて小林さんのお話を伺いましたが、1秒も飽きさせない密度の濃い語り口に、圧倒されました。また参加できるのを楽しみにしています。
- ・ 自分が知らない本を紹介していただくのは、とても興味深いです。「変えられた性」は「リリーのすべて」を見ていて、一層おもしろく拝聴しました。司書さんのトークも楽しかったです。
- ・ むずかしい内容もたくさんありましたが、オリンピックの井村雅代コーチの本、読んでみたくなりました。

下半期も開催予定

11月19日（土）・12月24日（土）

1月14日（土）・2月18日（土）

14：00～15：15（13：30開場）

無料、申込不要（当日先着60名）